

前回の計画部会(H25.5.29)で頂いた主な意見と対応方針(案)

○フォローアップ(試行)のテーマ設定 (重点目標4とすること)について

- ・時宜に合っている。維持管理・更新が必ずしも上手に行われてきたわけではないという実情もあり、テーマとして妥当。
- ・(指標等の)数値があまり入れられなかった分野を早くすることには意味がある。

重点目標4「社会資本の適切な維持管理・更新を行う」をテーマとしてフォローアップ(試行)を実施

○「評価の進め方と視点」について

- ・維持管理・更新の分野で議論すべきは、現状のチェックではなく、問題の捉え方
- ・維持管理・更新の問題は、予算があればできるということではなく、通信簿をつける感覚は違う
- ・実態把握を踏まえて将来計画のあり方を考え、新たに取り組んでいる施策も含めて議論すべき
- ・重点目標4は、現行計画が充実していないので、次に向けてどう充実させていくかが重要
- ・進んでいない施策について、体系的に課題や理由等のチェックリストを作り、重点的に評価
- ・点検がされず、台帳すらないという管理実態など、数値での管理に適している部分もある
- ・5か年が続いて行く中でのトレンドをどう見て、良い方向に向かっているかどうかを評価することも重要な視点
- ・数値を扱う際には、ベンチマークやデータベースといった統計的工夫が必要

指標やデータの値に依存するのではなく、これらを効果的に活用することで総合的な検討を実施

- ・重点目標4のフォローアップが、重点目標1～3にどう活かされていくかまで踏み込むべき
- ・地域戦略にあっていないか、地域から見たときに重点目標1から3にあっていないかを判断することにも配慮が必要

上記の議論の状況を踏まえて検討

○効率的な議論の進め方について

- ・分野横断的に考えている計画部会では、先行した取組を進めている分野の取組をフィードバックして、分野間でやりとりすることが必要
- ・計画部会では、道路や河川等の分野ごとの悩みや課題を共有し、発見することこそが重要な前向きな評価。良いアイデア、ベストプラクティスの他の分野への移転といった前を向いた評価をし、一緒に悩むというスタンスが必要
- ・個別メニューに関するチェックは分科会、部会でやるべきで、計画部会はそこからあがってくるものをどう見るか

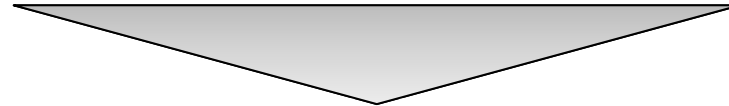
各分科会・部会との共通認識の形成、協力体制を構築

1. 維持管理・更新に関する国土交通省の取組（資料2）

重点目標4（社会資本の適確な維持管理・更新）に関連する国土交通省の取組状況に関する報告

2. 指標やデータに基づく施策の達成状況の分析（資料3）

国土交通省の取組と維持管理・更新に関する指標やデータとの関連性の分析



3. 次期重点計画案に向けた取組（案）（資料4）

今後のフォローアップで取り組むべき方向性に関する事務局案の提示

論点

- ・維持管理に係る情報や技術的知見が蓄積途上である現状を踏まえ、進捗状況の把握・分析を行い、次期計画につなげていくためには、いかなる視点・取組が必要か。
- ・必要な事業・施策の検討に当たっては、事業分野や管理者によって取組の進捗状況が大きく異なる現状を踏まえ、各分科会・部会等と如何なる共通認識を形成し、どのような協力体制を築くべきか。